



参議院議員

日本共産党

JCP HOPE



ito_gaku

検索

伊藤 岳 ニュースレター

2021年 12月26日 NO23



参議院事務所 〒100-8962
埼玉県事務所 〒330-0835

千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 609 tel.03-6550-0609 fax.03-6551-0609
さいたま市大宮区北袋町 1-171-1 tel.048-658-5551 fax.048-647-5755
E-mail jcp.saitama-kokkai@ymail.plala.or.jp

発行：日本共産党国会議員団埼玉事務所

改ざん指示文書確認せず 「総務省は怠慢」と伊藤議員追及

日本共産党の伊藤岳議員は 20 日の参院総務委員会で、国土交通省の基幹統計「建設工事受注動態統計調査」の改ざん問題についてただすとともに、集中審議を求めました。

伊藤氏は、調査票の書き換えが国交省の指示で行われたことは重大だと批判。国交省が都道府県に書き換えを指示した文書を、総務省として確認したのかとただしました。

総務省の担当者は「確認していない」と答弁。伊藤氏は統計法を所管する総務省として怠慢だと批判し、一連の文書の提出を要求しました。

また、伊藤氏は 2018 年に発覚した厚生労働省の「毎月勤労統計調査」の不正問題を受け、基幹統計について行った一斉点検では各府省の自主点検を総務省がまとめたものであることをしめし、



12月20日 総務委員会で質問する伊藤岳参議院議員

総務省は各府省から報告をうけたが「踏み込んだ検証が欠落していた」として全基幹統計の再点検・再調査を求めました。

伊藤氏は、国交省内部に検討会が設置され、その結論の下に、準備や手続きがされてきたと指摘。総務省の担当者は 10 年 1 月に始まった国交省内の議論は「統計調査の推計方法の変更に関わるものだ」などと答弁しました。

伊藤氏は、総務省としてただちに問題を究明すべきだとして資料の提出を要求するとともに、2 年間の保管期間である調査票の保存を求めました。

梅村さんを国会に送って 政治を変えよう

伊藤議員は、国会最終日となった 12 月 21 日大宮駅東口に立ち、国会報告とともに来年行われる参議院選挙での勝利を訴えました。宣伝には、梅村さえこ参議院埼玉選挙区予定候補と塩川鉄也衆議院議員も参加しました。



福祉灯油制度が特別交付税措置 周知徹底を

12月10日、伊藤議員と宮本たけし衆議院議員は、国の原油高騰対策のための特別交付税措置について総務省にヒアリングを行いました。

原油価格の高騰の影響を受けた人や事業者に自治体で助成を行った場合、必要額の 1/2 を補助するもので、生活困窮者の灯油購入や保育所など福祉施設の暖房費、農林漁業者の燃料購入などの財源に活用できます。

自治体では「知らなかった」との声が多く、両議員は制度の周知徹底を求めました。